



TAIYO KAGAKU  
Report  
**2023**

TAIYO KAGAKU  
Report  
**2023**

世界の健康を考える。







## Contents

経営理念・行動規範	01_02
特集:トピックス	03_06
特集:フォーカス	07_08
太陽化学のビジネスモデル	09_10
事業内容	11_14
くらしの中の太陽化学	15_16
事業とあゆみ	17_18
トップメッセージ	19_20
CSRマネジメント	21_22
お取引先様とお客様とともに/ 従業員とともに	23_24
地球のために	25_26
地域社会とともに/ 財務・非財務ハイライト	27_28
会社概要	29_30

### 経営理念

私たちは、世界の人々の健康と豊かな生活文化に貢献します。

私たち太陽化学は、健康と潤いある生活文化のために新しい価値を創造し続けます。

### 行動規範

好奇心 そして行動

Imagine, Desire and Create

#### Imagine

人類の未来に向かっての熱い想い

#### Desire

高い目標を実現する強い意志

#### Create

人々を感動させる価値の創造

問題を解決し、ニーズに応える「機能」を提供するソリューションを生み出します。

もっと安全・安心に。  
そして、世界の健康と生活文化に  
貢献していく。

私たちは、人々がより健康に安全・安心に向かうためにはどうすればよいのかを探究し、新たな分野・課題にも積極的にチャレンジしていきます。

#### 日本初の3つの取り組み

- 1 食品用乳化剤の開発
- 2 鶏卵加工品の企業化
- 3 L-テアニンの工業化



社員の  
4人に1人が  
研究開発職



50件を超える  
外部機関との  
共同研究



国内外で  
60件を超える  
受賞歴



世界各地に広がる  
研究開発拠点  
〈インド〉オランガバード  
〈中国〉上海  
〈タイ〉バンコク

#### □編集方針

太陽化学では、当社に関する情報開示や、当社のCSRに関する考え及び取り組みについて、その全体像をすべてのステークホルダーの皆様に対し、より広くご理解いただくことを目指して、「太陽化学レポート」を発行しています。本レポートでは、当社が事業活動を通じ社会や地球に対して果たしている役割や取り組みをご報告しています。

#### □報告対象期間

原則として2022年4月から2023年3月を対象期間としていますが、当該期間以前もしくは以後の活動も報告内容に含まれています。

#### □報告対象範囲

太陽化学を中心に一部グループ会社を含みます。

#### □次回報告書の発行予定

2024年6月を予定しています。

#### □参考にしたガイドライン

編集に当たり、社会的責任の国際規格「ISO26000」を参考にしました。



## 食品事業で培った技術で 革新を生む化粧品事業

### 包括的に心地よさ、環境対策を考え 価値を造りあげるモノづくり

「肌に触れるものだから、優しいものを使いたい。」  
また近年、肌に優しいだけでなく、地球環境に配慮した製品がスタンダードとなり、メーカーやブランドにも環境配慮型商品を提供することが求められています。  
当社ではこれまで食品原料で培ってきた技術を応用し化粧品原料への展開を拡充してきました。  
化粧品原料の一つであるサンソフトが1952年の発売から70周年を迎えました。円熟した技術を磨くと共に、目まぐるしく変化する業界のトレンドを敏感に読み取り、より先進し、移り変わるライフスタイルにマッチした素材をご提供できるよう常に画期的な素材開発、ソリューションを創造しています。  
また当社では顧客のお客様に対し素材の処方提案を積極的に行っています。  
素材の特徴をより生かし探求した商品開発のサポートをし、満足度が高く生活を快適にし社会に良い影響をもたらす製品開発に携わっていきたくと考えています。

### 「心地よさ」を創造する

生活に密着した製品において重要であるのが「心地よさ」です。気持ちの良いとろみ、伸び、なめらかさ、肌へのなじみ、豊富なテクスチャーを商品に合わせ、繊細に構築することで人にも環境にも気持ちよく使えるものを生み出すことができます。  
サンソフトの価値を最大限に引き出すことでテクスチャーをデザインし「心地よさ」を創造します。



### 様々な ワード

## 人にも環境にも優しい素材展開



### ナチュラル・環境配慮への取り組み

近年、素材の安全性を求める声や環境に配慮した商品を選択する消費者動向から、鉱物由来、生分解性などの点においてPEG(ポリエチレングリコール)フリーやナチュラルな界面活性剤のニーズがあります。  
今後のニーズは更に増えると捉え、使い心地も重視した処方サンプル開発をすすめ、豊富な技術を駆使し革新的な取り組みを展開していきます。昨今、原料メーカーとして、アメリカを始めとする展示会で、PEGフリーやナチュラル志向の「クレンジング」「サンスクリーン」「クリーム」などの処方サンプルを展示し好評を得ました。  
今後更なる世界での取り組みにも力をいれていきます。

### 敏感肌商品へのニーズ拡大

生まれたての赤ちゃんの柔らかな肌、肌質が変化しやすいといわれる妊婦さん、アレルギー体質の方にとって肌への負担が抑えられた低刺激性製品は選択肢の一つとして支持されています。  
また肌が弱い方以外でも、ライフスタイルの変化で、スキンケア意識の向上や肌への安全・安心意識は年々高まっており、敏感肌商品へのニーズ拡大が期待されています。  
当社は注力製品や処方提案において、製品が無刺激性であることの証明書(無刺激性試験のエビデンス)を取得しました。  
日本で取得した安全性データも含め、今後様々な国での幅広い展開も視野にいれています。

## 快適な生活へ向けた製品づくり



世界中でより環境配慮への意識が高まり、様々な製品の環境対応も重視されています。中でも洗浄系の製品において「水」への影響は注目されています。  
サンソフトを使用することにより、クレンジング後の洗い流された水が環境に与える負荷を低くすることができます。  
また、洗い流す際に落ちやすいテクスチャーなどを採用することで、水の使用量の抑制や、ダブル洗浄の必要がなくなるなど多くのメリットを生み出すことができます。  
簡単に素早く落とすことができると、洗浄時間の短縮や肌への負担減少に繋がり、暮らしに快適さをもたらします。  
生活する中で、人にも環境にも優しく気持ちよく使える製品づくりに向けて、今後も改善・革新を続けてQOLの向上に取り組んでいきます。



## スポーツ選手の健康な からだづくりを応援支援

### コンディションをサポートする 栄養プロジェクト

食品事業に携わり、健康と生活文化に貢献することを目標に掲げる当社では、これまでも体操、駅伝、陸上など様々なスポーツ団体を支援してまいりました。

健康の基本となる三大要素は「栄養バランス」「適度な運動」「十分な睡眠」です。

さらに身体をつかうアスリートはより細やかな栄養補給が望まれます。

しかし食事だけでは摂取が限られることも多い為、安心して使うことができるサプリメントも活用されています。

トレーニングによる疲労を回復するためには睡眠が大切とされており、疲れが蓄積された状態ではパフォーマンスが発揮できないなど睡眠と運動が、相互に影響しあうことも広く知られています。

例えば、アミノ酸の一種である「L-テアニン」には、睡眠前に摂取することで起床時の疲労感と眠気を軽減するといった良質な睡眠をサポートすることが報告されています。

### 身体に必要な成分を学び摂取する

自身の持つ力を最大限にパフォーマンスするには、どのような成分が身体に影響を与えるかを知ることが大切です。当社が行う栄養サポートでは、勉強会を行い、アスリートの方に学んでいただく機会を積極的に設けています。正しく学ぶことで自分の身体をしっかりと理解し、からだづくりに取り組むことができます。学びを生かすことで、適切なサプリメントを上手に活用することにも繋がります。



## BtoC アスリートに不可欠な鉄分をサプリメントでサポート



### 中央大学ソングリーディング部「Garnet Girls」の選手をサポート

2022年に当社が栄養サポートをさせていただいた中央大学ソングリーディング部「Garnet Girls」は2008年に結成された、世界でもトップクラスの大学ダンスチームです。チームよりエビデンスに基づく食事でのサポート要請があり、そこから当社とのご縁が生まれました。

アスリートの健康管理の一つとして重要視され、エネルギー産生にも欠かせない鉄分ですが、スポーツ選手の場合、発汗と物理的衝撃により鉄を損失してしまいます。とりわけ女性アスリートにおいては月経による出血により鉄分を排出してしまうため、鉄分補給は大切な課題となっています。

そこで、選手に鉄のサプリメントを6ヶ月摂取していただき、その前後のヘモグロビン推定値計測を実施しました。

このサプリメントは、2021年7月にアンチドーピング認証

である「インフォームドスポーツ<sup>※</sup>」を取得しました。鉄分を主体としたサプリメントでは日本で唯一認証を取得しており、アスリートにも安心して補給していただけるサプリメントです。摂取にあたり、鉄分の重要性を学ぶことを目的とした勉強会を行い、定期的なヘモグロビン推定値測定に加え、パフォーマンスに対するアンケートを行い活動をサポートしました。

日々の生活で十分な摂取が難しい栄養素をサプリメントで補うことによって、アスリートの健康管理に役立つことが期待されます。当社はこれからもアスリートを積極的にサポートしていきます。

※インフォームドスポーツ 英国LGC社が認証する、国際的にも非常に透明性の高いアンチドーピングプログラムの名称です。

## BtoC 無料相談室 おなかの保健室 排泄は健康のバロメーター



タイヨラボ・ショップ



相談風景

健康は日常の気遣いにより保たれ、元気に過ごすことができます。2020年、東京本社1階(港区浜松町)にタイヨラボ初となる実店舗タイヨラボ・ショップがオープンしました。

当ショップでは、地域とのコラボレーション企画として、「おなかの保健室」を月2回開設しています。おなかの保健室では健康と切り離すことができない「排泄」に関してプロに無料相談できます。

ご予約いただくと排泄ケアのプロに相談でき、相談者様にあったアドバイスや、おなかのマッサージなども学んでいただけます。身近な問題から皆さまと繋がることで、より良い健康的な世界をつくることができるとわたしたちは考えます。



# おいしさ科学館



## おいしさ科学館の挑戦。人の感覚に迫る。

おいしさ科学館では、機器分析で人の感覚を可視化しています。お客様の求める感覚を可視化し、お客様とともに「気づき・創造していく」サポート機関であると私たちは位置付けています。数々の専門的な分析装置と、統計学を中心とした様々なデータ解析により、社会のため、お客様のためチャレンジを続けています。

人の感覚は、同じ刺激を与えられたとしても、そこから感じる印象は千差万別です。それは、感覚とは絶対的なものではなく、人によって捉え方の違う相対的なものだからです。

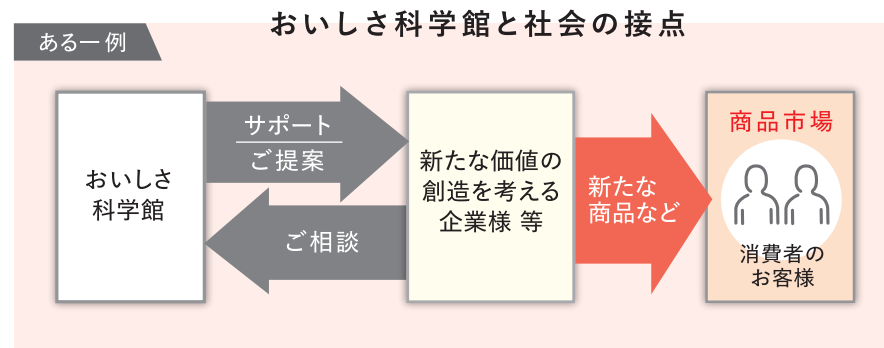
数値的に同じ分量の旨味でも、その旨味をどう感じるかは、その人の感覚次第。「十分だ」と感じる人もいれば、「旨味が弱い」と感じる人もいます。

そうした曖昧な人の感覚を理解するという事は、見えないパズルを組み立てていくような、深淵なプロセスが必要になります。

おいしさ科学館は開設して今年で18年目となり、数多くの実績があります。これまでの積み重ねが知見となり、さらに高度な感覚に迫っていけるのではないかと考えています。

### 実施設「おいしさ科学館」

2006年に開設されたおいしさ科学館は太陽化学株式会社東京本社(港区浜松町)内にある施設です。顧客のお客様とお話しながら様々な課題や分析に取り組み、情報をご提供する研究施設です。



## 数値から導かれる感覚

### おいしさ科学館の分析力

おいしさ科学館への相談は、商品開発を目的とするものばかりではありません。「開発した商品について、おいしさや使用感といった人の感覚をプロモーションしたい。そこに客観性を持たせるため、機器分析によって人の感覚を可視化したい。」といった目的の相談もあります。お客様の目的に向かって、良好な結果を得られるようにおいしさ科学館では、どのような感覚を可視化したいのか、どのようにプロモーションしたいのか丁寧にヒヤリングしていきます。



## 数値をもとに、人の感覚に迫る



分析装置があれば、人の感覚が必ずしも実証できるものではありません。そのため装置から得られたデータをどのように解析すれば実際に人が感じている感覚を抽出できるのか、データ解析法を検討することが重要です。おいしさ科学館のメンバーは、それぞれに幅広いデータ解析スキルを持っているため、結果の抽出方法を予めイメージすることができます。

常に決まった解析法ではなく、得られた分析データの性質に合わせて解析法を検討し、時にはお客様とのディスカッションを重ねていきます。次に、味わいや使い心地に客観性を持たせるために数値化します。[味覚][におい][食感][使用感][成分の分散状態]など複雑な感覚を専用の分析装置を使い数値化し、「人の感覚を可視化する」プロセスを行います。

数値化されたデータにお客様の意思を込めるため、目的に向かってデータをよりクリアにしていくため私たちは日々スキルを磨き続けています。

### 機械装置の一例



#### 静動摩擦計測機

摩擦力を計測する装置です。化粧クリームの肌馴染みや、毛髪の櫛通りなど、触感の分析に使用します。



#### 味覚センサー

様々な味質(酸味・苦味など)の強度を測定する装置です。味細胞の受容体を、人工脂質膜で模倣したものです。

私たちは、おいしさ科学館をご活用いただくことで、より新しい気づきを生み出すことができると考えています。身体に取り入れたいが苦味やえぐみの強い食材を、どうしたら食べやすくなるか。人の感覚に迫ることで、いままで社会に実現できなかったアイテムも、広く行き渡らせることができるかもしれない。より社会に貢献していくためにはどうしたらいいか。私たちは常に考え、活動しています。



太陽化学は世界的視野に立ち、人々の健康と豊かな生活文化に貢献し、発展・成長し続ける企業を目指します。

健康

社会課題

- ・現代人の生活習慣の乱れ
- ・日本の超高齢化社会の進展
- ・フードロス
- ・気候変動・脱炭素化

文化

パンデミック

- ・生活様式の変化
- ・働き方の変化

研究



共同研究により生まれる信頼

確かなエビデンス取得に向けた大学・研究機関との連携。

生理効果の検証だけでなくメカニズムの解明を含めた研究を学術機関と連動して実施し、市場のニーズからアイデアを見つけ、独自の製品を設計。

生産



グローバル展開

世界に向けて各地域に必要な認証を取得しグローバルに展開した生産。

食品・飲料・化粧品など、業界問わず幅広い製品展開を実施。品質が担保された製品の製造を実施。

品質



世界水準の品質管理

原料原産国に自社工場を有し、原料の安定調達、国際認証規格に沿った品質・工程管理を実施。

品質に客観性を持たせるため、製品検査を当社だけでなく外部独立機関へも委託。原料の調達から製造まで厳格なガイドラインを定め遵守。

市場の創造



QOLに向けたアプローチ

人々の生活の質向上に向けた提案。健康寿命延伸に向けた取り組みを実施。

お客様との接点をより深く持ち、戦略的営業活動、事業部戦略、営業戦略を掛け合わせた計画と推進を行いながら、課題解決と提案を実施。

Internal Resources  
好奇心 そして 行動  
Imagine, Desire and Create

BtoB

課題解決

相談・受託型ビジネス

お客様と一体となって、困りごとを解決する。

価値訴求

自社企画・提案型ビジネス

当社から、社会に対して価値提案していく、自社企画商品・サービスなど

目指すもの

世界の健康と生活文化に貢献する。

BtoC

健康寿命の延伸

多様な生活様式・働き方に寄り添うQOLの向上

一例として

福祉施設などのセクターとの連携  
→おむつゼロ運動

市場の創造・取引先の開拓



“私たちは、世界の人々の健康と豊かな生活文化に貢献します。”

世界中の、多くのメーカーと協業させていただいている責任の中で、3つの事業部が、世界の健康と豊かな生活文化に貢献するために、研究開発・マーケティング・生産で一体的に取り組んでいます。

## Core value

### 界面制御技術

かいめんせいぎょぎじゅつ

水と油が混ざらないように、異なる物質の接触面には必ず境界があります。その境界のことを“界面”と呼び、界面に働きかけることで素材への様々な機能付与や味わいのデザインが可能となります。私たちは、界面を制御することにより、お客様の課題や社会課題を解決しています。

水と油の  
**界面**  
かいめん



### インターフェイス ソリューション 事業部

- 乳化剤・乳化製剤
- 蛋白系素材
- 化粧品・工業用途向け化成品

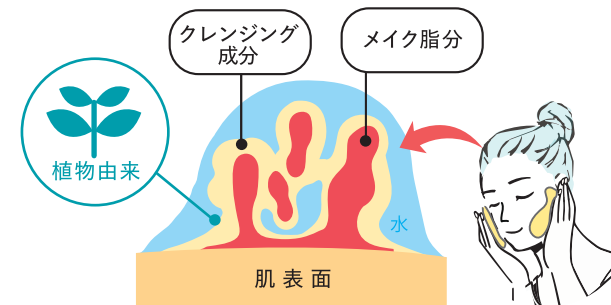
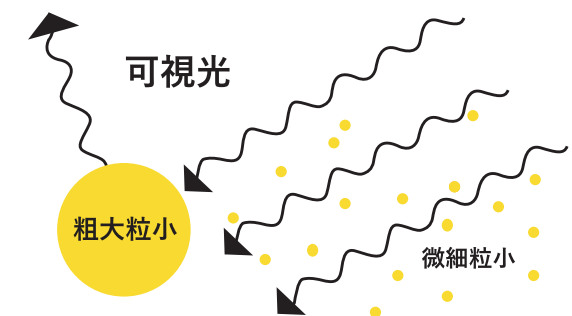
界面制御技術を駆使して、“おいしさ”と“ここちよさ”を最大化します。

私たちは食品用乳化剤をキーマテリアルとして食品での技術革新に貢献してまいりました。この技術は食品に留まらず、今では化粧品など非食品分野にも広く活用されています。私たちは、お客様や社会の課題を丹念に紐解き、界面制御技術を日々研鑽することで、課題解決を目指しています。常に高付加価値な素材や技術を提供していきたい。そのためのコンサルティング・ソリューションを強みにしています。

### 界面制御技術で実現できる 機能・性能

#### スーパーエマルジョン

太陽化学が開発した新乳化システムです。液中の脂質粒子のサイズをコントロールし、超微細化することで、本来水に混じらない油脂類を水に透明分散させる画期的な技術です。乳化粒子のサイズをコントロールすることにより、油脂類が持つ様々な機能を最大限発揮させることが可能となります。



#### 低刺激クレンジング剤

食品にも使用されている界面活性剤を活用した肌に優しいクレンジング剤を提案しています。食による長年の使用実績があり、高機能、且つ低刺激性、安全性に優れています。植物由来原料を中心とすることにより、持続的な化粧品開発にも貢献しています。

お客様の課題解決から製品開発を。

コンサルティング・ソリューション





ニュートリション  
事業部

- 緑茶抽出物
- 水溶性食物繊維 ● L-テアニン
- NDS製剤 (鉄・ビタミン・PUFA)
- アムラ果実エキス
- モリンガエキス

時代に合わせた、健康課題に  
対するソリューションを提供します。

天然素材の中には、人の生活をいきいきとさせるために必要な栄養素を含んだ食材がたくさんあります。私たちは、日々世界中の天然素材の中から機能性素材を探究しています。インドで採れる“グアー豆”由来100%の「水溶性食物繊維グアーガム分解物」は、そうした探究を経て製品化した機能性素材です。これからも国内外でエビデンスに裏付けされた高機能食品素材を、さらに活用しやすいように抽出・製剤化し、人々のより健康で豊かな生活文化を支えていきたいと考えています。

ナチュラル  
イングリディエント  
事業部

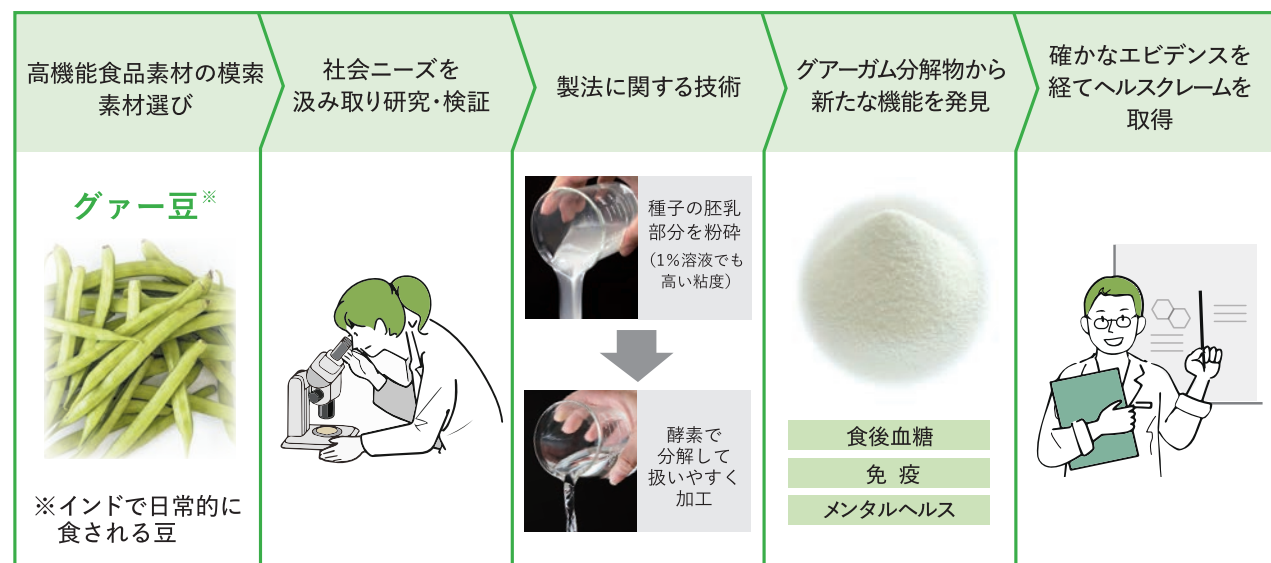
- 鶏卵加工品
- 即席食品用素材
- 農産加工品 ● 凍結粉碎品
- 乳加工品 ● 蛋白加工品
- 増粘安定剤

素材のチカラを損なうことなく、  
“機能”と“おいしさ”を提供し、  
素材の可能性と価値を最大化します。

私たちが普段口にする食材は、エネルギーの源です。その多くは、元を辿れば大地からの恵みによって得られています。私たちはその様々な力を持つ素材を、独自の加工技術によって、世界中に届けることを目的としています。素材の中には、生命を繋げる素晴らしい力があります。その力の構造を解明し、素材の持つ機能と、素材の持つおいしさを追究するコンサルティング・ソリューションを強みにしています。また、鶏卵加工技術も日本で先駆けて確立し、卵を元にした素材加工品を展開しています。

例えば 水溶性食物繊維

ニュートリション事業モデル

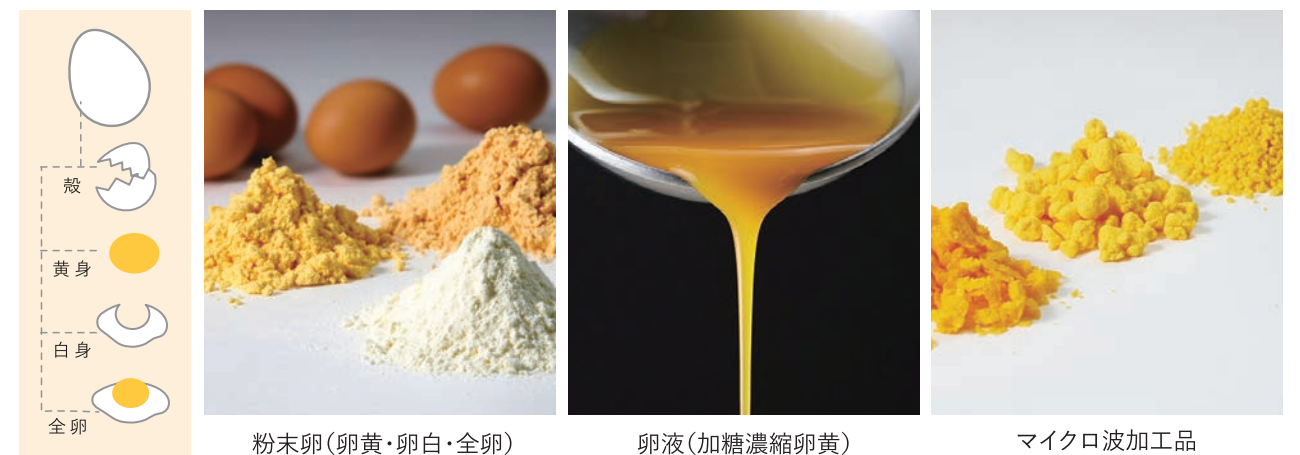


日本から世界＝グローバルな展開へ

例えば 鶏卵加工品

ナチュラルイングリディエント事業モデル

素材の中には、それぞれの部位に様々な力が存在します。当社では、そうした素材の力をあますことなく引き出し、活用するため試行錯誤を繰り返し、魅力的な素材加工製品を生み出しています。例えば卵を例にあげるとあらゆる加工方法を駆使しながら、それぞれの部位を様々な形態にすることにより、用途や使用の可能性を広げ、豊かな食生活を育み、世界の健康と生活文化に貢献していくことを目指して、事業を行っています。



お客様の課題解決から製品開発を。

コンサルティング・ソリューション

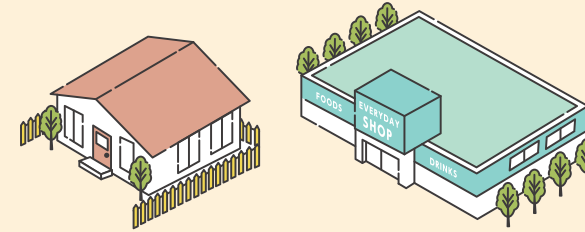
お客様の課題解決から製品開発を。

コンサルティング・ソリューション



# くらしの中の太陽化学

くらしの中の太陽化学は皆様の食に関わるあらゆる生活のすぐ近くから、化粧品やトイレタリーまで、豊かな暮らしを黒子のように支えています。



## 出来立てのおいしさを

たまごやさつまいも等の素材に加え、出来立てのおいしさを保持・演出する当社製品は、嗜好性を高めるだけでなく、フードロスの低減にも寄与します。

乳化剤、増粘安定剤、鶏卵加工品、さつまいも加工品、酸化防止剤



## おいしさと楽しさの演出

品質を安定させるだけでなく、商品価値を高めるようなテクスチャー、コンセプトを付与します。

乳化剤、増粘安定剤、香料、機能性素材



## 手軽においしさを

普段の生活に欠かせないインスタント食品をいかにおいしくできるか様々な加工技術をもって素材を提供しています。

乾燥具材、麺用品質向上剤、食品用乳化剤/乳化製剤



## 生活の質

流動食の物性コントロールや栄養素の供給、免疫の最前線でもある腸内環境のバランスの維持に貢献しています。

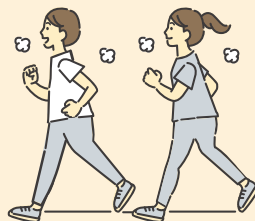
乳化剤、増粘安定剤、グアーガム分解物



## 朗らかな毎日に

健康食品、サプリメントに欠かせない機能性素材を安全性と確かなエビデンスとともにお届けしています。

緑茶カテキン、L-テアニン、グアーガム分解物、ミネラル、カロテノイド



## 抗菌

洗浄成分に加え、抗菌性を有する素材は皆様の身近なところで毎日を支えています。

界面活性剤、緑茶カテキン



## 鮮度長持ち

エチレンガスを分解することにより、冷蔵庫の野菜室の野菜鮮度が長持ちします。ご家庭でもフードロス、エコの実現に貢献します。

TMPS<メソポーラスシリカ>



## バイオマス度UP

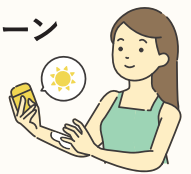
バイオマス度を上げたり、プラスチック使用量削減のための物性改善に植物由来の界面活性剤が使用されています。

界面活性剤



## サンスクリーン

- ・粉体分散
- ・乳化安定
- ・UV防御



## オーラルケア

- ・抗菌消臭
- ・フッ素強化



## 洗顔

- ・洗浄
- ・保湿
- ・泡質改善



## クレンジング

- ・メイク落とし
- ・洗い流し向上
- ・角栓ケア



## 化粧水

- ・可溶化
- ・保湿



## 乳液

- ・乳化
- ・保湿



## ボディウォッシュ

- ・洗浄
- ・保湿
- ・泡質改善



## シャンプー

- ・洗浄
- ・泡質改善
- ・頭皮ケア



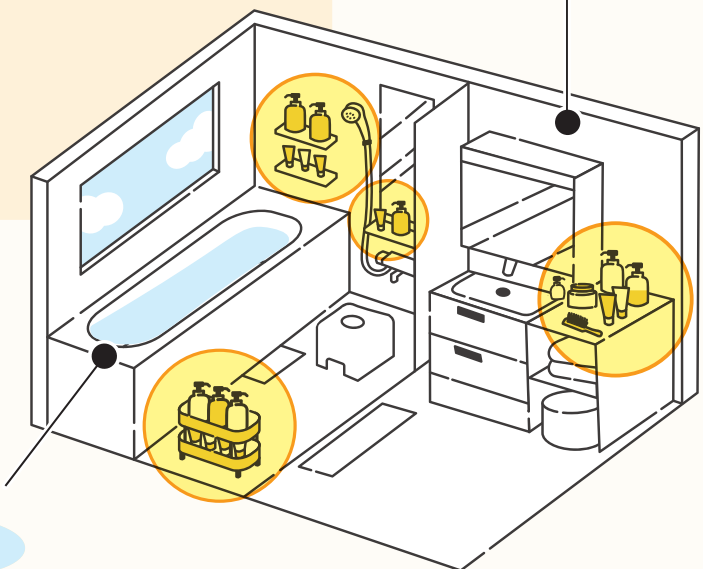
## トリートメント

- ・エモリエント
- ・ダメージ軽減



## 入浴剤

- ・乳化
- ・可溶化
- ・保湿





# 太陽化学の価値創造の歴史

Imagine, Desire and Create

“世界の人々の健康と豊かな生活文化に貢献します。”

太陽化学は、伝統的な天然素材から、最先端技術を応用した新規素材まで様々な食材・工業用途向け素材を取り扱うとともに、無限の可能性を秘めた機能性食品素材の創造に取り組んでいます。私たちは、食と生活を支える研究開発型のソリューション企業として、新しい価値を「創造」し続けます。

## 1950年～ 1960年～ 1980年～ 2000年～ 2010年～

ルーツ

おいしさを支える素材を生み出す  
その技術をより幅広い分野へ

おいしさの幅を広げる  
様々な製品を開発

おいしさの先の付加価値である  
「健康」を支える素材の開発

グローバル展開と  
化粧品向け原料の拡充

1950年～



- 太陽化学工業株式会社設立(1946)
- 太陽化学工業株式会社に改組(1948)

石鹼の製造

界面制御技術

1960年～



- 太陽フード株式会社設立(1958)

高度成長期を迎え、  
大量生産・大量消費の時代へ

1980年～



- 太陽化学株式会社に社名変更(1981)
- 塩浜工場完成(1981)
- 総合研究所完成(1987)
- 南部工場完成(1989)

健康・こだわりを満たす  
付加価値を求める時代へ突入

1990年～



- 米国現地法人  
タイヨーインターナショナルインク設立(1994)
- 中国 開封太陽金明食品有限公司設立(1995)
- インド タイヨールシード工場竣工(1995)

2000年～



- おいしさ科学館開館(2006)
- 新乳化剤工場完成(2011)

2020年～



- 化粧品原料用界面活性剤製造工場完成(2021)
- ミネラル・ビタミン製剤製造工場完成(2022)

国内消費が縮小しグローバル展開や他業種への展開が  
必須になることを見越した動きが広がる  
安全・安心な素材提供が重要視されるようになる

時代背景

戦後、生活するための物資が不足し、  
人々は貧困・栄養不足という問題に悩まされる  
食品製造のインフラは未整備で、生産の安定性に課題

日本初の技術で貢献

- ・石鹼を製造する界面制御技術を活かし、  
日本初の食品用乳化剤の開発を実現

界面制御技術のさらなる進化

- ・日持向上剤の開発
- ・分子蒸留による精製の確立

食品応用の安心感を拡大

- ・可溶化技術の確立
- ・新規高機能乳化剤の開発で、  
より多くの食品・飲料への展開が可能
- ・植物原料へのシフト

環境と身体にやさしい技術の探究

- ・環境配慮型製品の開発
- ・食品で培った技術をベースに  
化粧品向け原料を本格的に展開

インターフェイス  
ソリューション  
事業部

大量生産を支える物性制御技術

- ・日本初の天然ガム系  
安定剤製剤の開発
- ・アイスクリーム向けに  
日本初の食品用乳化  
安定剤製剤を開発

世界に類をみない加工卵

- ・日本初の鶏卵加工品の企業化
- ・酵素処理卵の開発
- ・加糖濃縮卵の開発

大量生産を見据え家内工業に近かった鶏卵  
加工品に企業として初めて取り組み始める。

食へのこだわりとともに

- ・即席食品用素材の開発
- 凍結粉碎、凍結濃縮、マイクロ波加工などの  
加工技術を駆使。様々な先進素材を開発。

機能性食品素材の先駆け

- ・緑茶抽出物、水溶性食物繊維などを開発し、  
付加価値を追究
- ・アミノ酸L-テアニンを世界初の工業化
- ・ニュートリションデリバリーシステム技術の確立

世界に向けた供給体制

- ・乾燥具材の海外生産
- ・介護食品向け安定剤

ナチュラル  
イングredient  
事業部

健康な生活への取り組み

- ・アーユルヴェーダ食物素材アマラ果実エキスや  
モリンガエキスの研究
- ・スーパーインクルージョン技術の確立

ニュートリション  
事業部





## 心身の健康、人のウェルビーイングを実現するために。 私たちがやるべきことは何か。

代表取締役社長

小崎長宏

### 変化の大きい時代 乗り越える力を。

今年は様々なことが起きた1年でした。

コロナの影響も残る中で、戦争やそれに関わる物流への影響、インフレや燃料高さらには鳥インフルエンザによる影響まで、世界中で様々な局面において問題が噴出した年でした。原材料やエネルギーの供給も今まで当たり前のように行われてきましたが、実は非常に弱い構造の上に成り立っていたと感じました。

今後はより憂慮すべき事態が起こる可能性もあります。私たちは、あらゆる事態に対応していかなければならず、社内の意識も何が起きたとしても対応できる体制づくりが必要です。

2050年には日本の人口は1億人以下になるといわれている状況下で、国内の新たなマーケットや海外の既存のマー

ケットに向けて、自分たちの得意な分野で活路を見出さなければなりません。少子化・人口減のスピードも予想以上に早く、より大きな波に備えなければならないと考えております。そのために、注力していきたいのは「情報」の捉え方です。

### 「世界の人々の健康と豊かな生活文化に貢献すること。」 正しい情報を正しく伝える

東南アジアなどの暑い地域は、加糖飲料などの糖分を多く摂取する傾向があり急速な勢いで糖尿病患者が増え

ています。こういった社会問題に対し正しい「情報」を伝えることで、食事の摂り方が変化するのではないかと考えています。

「かしこく食べる」を世界中で推進する。

例えば、小学校の家庭科でも現状より更に栄養基礎学を学び、幼い頃から「健康のための食べ方」を知ることが最善ではないかと考えています。正しい情報を学ぶことで栄養バランスを意識し健康を維持できるのであれば、医療費なども変わっていくと考えています。

偏った食事による発病も存在する中で、正しい情報を正しく伝える大切さを痛感しています。

エビデンスや医学的根拠を蓄積しながら、正しい知識を皆様にお伝えしていくことが私たちの使命だと考えています。

### 正しい情報のもと、ウェルビーイングを どう実現させていくか

“ウェルビーイング”という言葉は「心身ともに満たされた状態」を指します。例えば、いつもとは違う食べ物を食べることによって、肌の状態が変化するなど、“体内”をいかに綺麗にするかが、“体外”の綺麗に繋がっていくことが少しずつわかってきました。

“心の内”で「美しくなる」「気持ちが良い」と思って化粧品を使用するとポジティブな気持ちになりホルモンの分泌が促されて、より綺麗になるということもあります。人間の身体とは部位ごとにバラバラではなく実は一体的なのです。気持ちが身体に与える影響は実際に存在し、自分は環境に配慮したものを使用しながら健康的であると思えばそれはその人にとってのウェルビーイングになります。心と身体を一体的に捉え、人のウェルビーイングを実現する事業をどうやって構築していくかについて探っていきたいと考えています。ここでも、ポイントとなるのはやはり「情報」です。情報が飛び交う世の中では、伝え方によって物事の見え方が変化していきます。正しい情報とは何かを追い求めつつ、私たちの事業をどうやって関与していけるか、また人のウェルビーイングを実現した社会をどうすれば築くことができるかを考え取り組みを進めていきます。

### 共創を生み出す

正しい情報を得られる社会を実現するには、私たちの力だけでは実現できません。例えば、ウェアラブル端末やAIで日々の身体の状況をモニタリングすることで情報が蓄積し、その人にとっての必要な栄養を把握できれば、更なるウェルビーイングに繋がっていきます。生活習慣が乱れがちな方へ健康的な生活をサポートしていくためには、環境づくりがとても大切で、生活を構成する家電などの連携も不可欠だと考えます。日々排便をモニタリングするトイレや食生活を管理コントロールし、必要であれば栄養素を添加する冷蔵庫など、より生活と密着した健康

管理というのが当たり前になる日がそう遠い未来ではないのかもしれませんが。また身体の状態がわかるようになると食べ物と健康の相関関係ももっとはっきりしてくるのではないかと考えています。

正しい情報を得られる社会を実現させていく為、業種を問わずメーカーとの共創なども取り組んでいきたいと考えています。

### 新しい分野へ

日本の食品廃棄は年間約500万トンといわれています。当社は廃棄抑制のため、食品添加物である抗酸化剤を用いて消費期限を延長する取り組みを実施しています。また食品そのものだけでなく、食品に使用される包装に対しても食品添加物を使用するアプローチもしています。日本の食品包装は内容物の品質を維持することに長けていますが、包装する食品の量や種類が多いほどプラスチック廃棄物も増加します。そういったプラスチック廃棄物を減らすことを目的とし、包装容器を石油由来からバイオ由来のものへ変更する動きがあります。そして、ここでも食品添加物が使用されています。

また、現在のエネルギーコストの増大や効率化の影響を受け、他企業の製造工程のロスの見直しや簡素化まで当社にお声がかかるようになりました。SDGsをきっかけに意識された生産工程の問題点ですが、そこへお手伝いができ、お客様に喜んでいただければ互いに利益になりつつ社会貢献にも繋がります。今後も事業領域を国内・海外を問わず、また一介の商品開発だけに留まらず展開し、変化に強い企業体質を構築していけたらと考えています。

### 社会的であることはベースに ステークホルダーの皆様とともに

新しいことへの挑戦をどんな時代であっても継続していくことが私たちの使命であり、その中で皆様の役に立てるような場所になりたいと考えています。SDGsやESGの考え方をどう事業にしていくかは当たり前に行われる必要があると思っていますし、当社も事業としてそう取り組まなければならないと考えています。ステークホルダーの皆さまと一丸となって、社会の要請に取り組んでいきたいと考えています。

“私たちは、世界の人々の健康と豊かな生活文化に貢献します。”



太陽化学グループは、社会から信頼され、必要とされる企業を目指します。一人ひとりの社員が基本理念である「好奇心 そして行動」の精神のもと、社業に取り組み「進化」し続けることが、太陽化学グループの社会的な責任であると考えます。

行動規範

好奇心 そして行動

Imagine, Desire and Create

太陽化学は世界的視野に立ち、人々の健康と豊かな生活文化に貢献するため、「好奇心 そして行動 Imagine, Desire and Create」を基本理念とし、全社員が一丸となって常に社会から信頼され、発展・成長し続ける企業を目指しています。この企業像の実現のため、行動規範は太陽化学のすべての役員・従業員及び組織にとって、企業としての社会的役割と責任を自覚し、従業員としての適切な行動をするための拠りどころとなるものです。

経営理念

“私たちは、世界の人々の健康と豊かな生活文化に貢献します。”

TAIYO KAGAKU  
CSR Management

行動規範

CSR  
基本方針

コーポレート・ガバナンス

(右記 QR からご覧いただけます)

CSR 基本方針

Social / 社会

P23~P24

従業員、株主・投資家の皆様、お客様、お取引先様等すべてのステークホルダーとのコミュニケーションを大切に満足度向上に努めます。



Social / 社会

P27

法令遵守のみならず事業活動にて生じる社会への影響に対処し、広く社会からの期待、要望に答えることにより、社会貢献に努めます。



Environment / 環境

P25~P26

人と地球にやさしい企業として地球環境の負荷低減に積極的に取り組みます。



Governance / ガバナンス

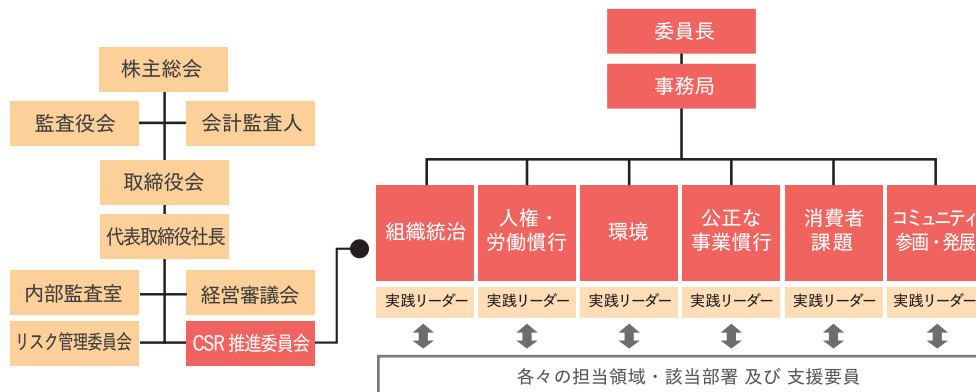
【ISO26000中核課題】  
組織統治

法令遵守の徹底や不祥事の未然防止を図るため、リスクマネジメントやコンプライアンスの更なる強化徹底に取り組みます。



CSR推進体制

当社では、ISO26000の中核課題に準じて、推進責任者を配置し、目標達成に向けた施策と検証を行っております。各推進責任者はそれぞれの課題とテーマを設定し、年間を通じてマネジメントを行い、CSRの基本方針の遂行に寄与しています。



国連グローバル・コンパクト

国連グローバル・コンパクト(UNGC)は、各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する自発的な取り組みです。



当社は2019年9月より、国連グローバル・コンパクトに参加しています。

EcoVadis 評価

EcoVadis(エコバディス)は世界160カ国、9万5000社以上の企業に評価を実施するサステナビリティ・サプライチェーンの評価会社です。「環境」「労働と人権」「倫理」「持続可能な資材調達」の4分野で企業のCSR方針や施策、業績を評価しています。

当社は、2020年から、EcoVadisによる評価に取り組んでいます。

RSPO 認証

世界の健康を、調達から考える

欧米市場では、持続可能性のある成分の需要が高まっています。RSPO認証は、持続可能性のあるパーム油の生産と利用を促進することを目的としている非営利組織が進めている認証制度です。私たちもトレンドをリードしている欧米市場に合わせて、そうした認証を取得し、積極的に市場に投入しています。今後も持続可能性のある企業活動の促進強化を積極的に図っていきたいと考えています。



RSPO認証の動き

2017年に入会  
2018年にサプライチェーン認証を取得  
2019年からMB製品の納入を開始  
2021年時点でヨーロッパに供給している全製品をRSPO対応品に切り替え。  
アメリカに供給している製品の内の、60%以上をRSPO対応品に切り替え。

実績/MB

2019年 5製品以下  
2021年 40製品以上に拡大  
2022年 50製品以上に拡大

現状

2022年/  
化粧品業界に供給している製品の内の、80%以上RSPO対応可能

目標

2028年全ての顧客からのご要望に対して、全製品でRSPO製品を提供する。



## お取引先様と お客様とともに



私たちは、お取引先様を大切なパートナーと考え、適切な取引を徹底し公正・公平な関係性を保ってまいります。またお客様とのコミュニケーションを大切に、市場のニーズにあった優れた製品開発、良質なサービス、及び情報を提供することで、皆様との良好な関係を実現してまいります。

### 調達方針

- 品質本位** 私たちは、安全な品質を第一に考えた調達を行います。
- サプライヤー** 私たちは、お取引先様を大切なパートナーと考えます。
- 環境への配慮** 私たちは、人と地球にやさしい企業として、地球環境の負荷低減を重視した調達に積極的に取り組みます。
- 法令遵守** 私たちは、法令を遵守し、信頼される企業を目指した調達を行います。
- 社会貢献** 私たちは、透明で信頼ある調達活動を通じて更なる社会貢献を行います。

### 品質方針

- 私たちは、食品関連法規を遵守し、安全・安心な製品をお客様へ提供します。
- 私たちは、製品の安全性を確保するため、品質システムを確立し、維持します。
- 私たちは、HACCP(ハサップ)を品質システムの基盤とします。
- 私たちは、製品の安全性に問題が生じたときの報告義務を徹底します。
- 私たちは、品質システムを毎年見直し、改善します。

左記の品質方針のもと、品質マネジメント活動を実行し、その活動を通してリスクを抽出してその抑止を行い、あるべき姿にすることにより安全・安心な製品づくりを進めてまいります。また世界的な食品安全管理標準規格であるGFSI認証スキームによる品質マネジメント認証の拡大を実行してまいります。(国内工場: SQF、海外工場: FSSC22000)

### CSR調達ガイドライン策定とサプライヤーへの通達

当社では社会の持続可能な成長に貢献することを目的に、CSRへの取り組みとして、お取引先様と協力してサプライチェーン全体に拡げる「CSR調達」を推進。この取り組みを通じて当社とお取引先様双方の企業価値を向上させることも目指しています。また、CSR調達にかかるガイドラインを制定し、サプライヤーと共有しています。

### 原材料調達について

当社では世界食品安全イニシアチブ(GFSI)が認定するHACCPを主軸とした食品安全管理プログラムSQFの要求事項に従い、ガイドラインを定めて原材料調達を行っております。



### コーシャ・ハラールへの対応

世界の様々な生活に根差す。

私たちは、原料から製造過程において、厳正にチェックされた安全・安心な食品原料を提供しています。コーシャ・ハラール認証は宗教的な理由はもとより、食品の安全意識が高い消費者に多く支持されています。また、インフォームドチョイスやNon-GMOなど安心して購入頂けるよう積極的な認証取得を行っている製品もございます。

Sunfiber®  
Sunphenon®  
Suntheanine®  
SunActive®

「お取引先様とお客様とともに」のその他の情報はWEBでご覧いただけます



## 従業員と ともに



私たちは、互いの人格と個性を尊重し、多様な人材がワークライフバランスを保って働くことのできる、健康的で意欲あふれる職場づくりを推進してまいります。

### 人権方針

- 人権の尊重** 私たちは、事業活動に関わる一人ひとりの人権を尊重します。
- 差別の禁止** 私たちは、事業活動において、人種、国籍、出身地、宗教・信仰、性別、性的指向、性自認、社会的身分、障がい等による差別を行いません。
- ハラスメントの防止** 私たちは、あらゆるハラスメントを行いません。
- 強制労働・児童労働の禁止** 私たちは、強制労働、児童労働は行いません。
- ダイバーシティの推進** 私たちは、多様な人材の個性を尊重し、一人ひとりの強みを最大限活かすことのできる企業を目指します。
- 人権啓発の実施** 私たちは、従業員が人権尊重に関する正しい理解と知識を深めるため、継続的に教育を実施します。
- 関係する皆様と共に** 私たちは、お取引先に対しても本方針を理解し、人権を尊重し侵害しないよう求めます。

### ダイバーシティと機会均等

従業員のキャリアについては、現在の業務状況や今後のキャリア希望などを毎年自己申告する機会があります。従業員が自身のキャリアを考えながら、職域拡大の要望を反映させる仕組みを取り入れ、現在従事する業務に関する内容はもちろん、新たな職域へ挑戦できる環境を整えています。また、子育て中の従業員が仕事と家庭の両立を図ることができるよう、子が小学校2年の始業式に達するまで、育児短時間勤務制度を活用することができます。作業工程や手順を明確化することで仕事内容の共有化を図り、育児や介護のための休暇や勤務時間短縮の制度を利用しやすくなるなど、従業員が働き続けられる環境づくりを実施しています。

### ジョブローテーション

### 太陽化学の[働く]取り組み

#### 一人ひとりがスキルアップしプロフェッショナルになる

特定分野の専門性を追求する「専門家」も必要ですが、当社においては、幅広い経験を通して視野を広げることを目的に定期的なジョブローテーションを実施し、「専門家」よりも複数分野における専門性を身につけた「プロフェッショナル」になることを社員に期待しています。また、企業内研修では外部の講師だけでなく、社員自身が社内講師となり、社員を指導する企業内研修を活発に行っています。社員が考え、実践することで、その社員自身の成長を図ります。



### ワークライフバランス

### 働き方改革の推進

**育児**  
育児休業制度  
子の看護休暇  
プレママミーティング  
育児短時間勤務制度  
育児のための時差出勤制度  
女性の育児休業取得率 **100%**

**介護**  
介護休暇制度  
介護休業制度  
介護短時間勤務制度  
介護のための時差出勤制度

**勤務  
休暇**  
在宅勤務制度の導入  
ストック休暇

### 健康経営理念

当社は日本健康会議健康経営優良法人認定事務局より昨年度に引き続き「健康経営優良法人2023」に認定されました。今後も健康経営方針に基づき推進していきます。



「従業員とともに」のその他の情報はWEBでご覧いただけます





# 地球のために



私たちは、人と地球にやさしい企業として、  
事業活動における環境への影響を考慮し、  
地球環境への負荷低減に積極的に取り組んでまいります。

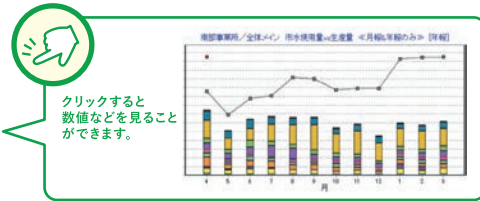
## 環境方針

当社は、食品素材メーカーとして自然の恵みに感謝し、人と地球にやさしい企業として、地球環境への負荷低減に積極的に取り組み、皆様に信頼される企業を目指します。

1. 環境関連の法規則を遵守する。
2. 省資源、省エネルギー対策を行う。電気/燃料(LNG、都市ガス、LPG、ガソリン、軽油)/工業ガス/水/紙
3. 廃棄物の削減・3Rを推進する。
4. 排水の維持管理を強化する。
5. グリーン調達に配慮する。
6. 環境目標を設定し、全従業員で取り組み実現を図る活動を推進する。
7. 漏洩対策を徹底する。

## 太陽化学の環境教育

太陽化学は、事業活動のあらゆる面において環境負荷の低減に努め、全社的な環境活動を継続的に実施しております。社内に環境管理委員会を設置し、部会活動によりCO<sub>2</sub>排出量削減や、廃棄物の発生抑制、リサイクル等の活動を積極的に行っています。日常的な活動を通じて意識改革を行い、環境に対する認識定着に繋げる取り組みが評価され、2009年には、食品産業優良企業等表彰環境部門において、農林水産大臣賞を受賞いたしました。また2016年度からはエネルギー使用量を見える化したシステムを導入し、各工場の情報をシステムで一括管理しています。10以上の各プラントのエネルギー使用量は従業員であればだれでも見ることができます。見える化することで使用量の意識を高め、より効果的な削減に努めています。



## 環境管理委員会

各部会の定期的な勉強会の開催

活動の一例

### エネルギー部会

エネルギーの見える化を利用した削減活動の推進

### 排水部会

法規制より厳しい協定値を遵守する排水管理の推進

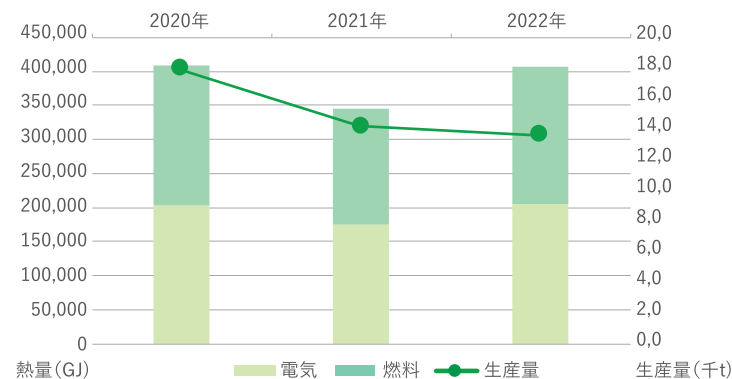
### 廃棄物部会

廃棄物のリサイクル率99%を達成

## 表彰制度

環境に関する課題(エネルギー消費量を含む)を改善した優秀な従業員を年1回表彰する制度を設けています。優秀な従業員に対し報奨金が支給されます。

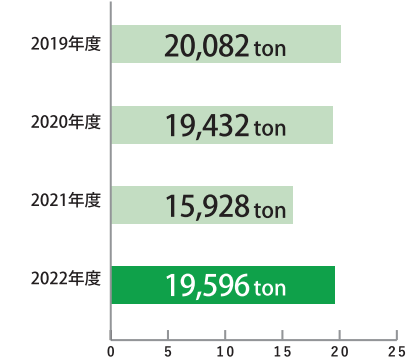
## エネルギー使用量 対 生産量



## CO<sub>2</sub>排出量

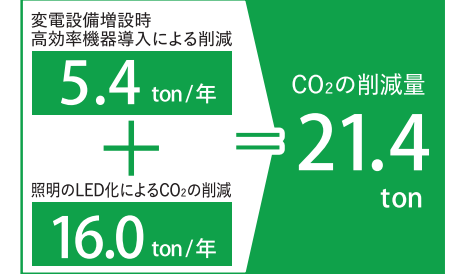
食品製造メーカーである太陽化学の生産工程には、加熱・殺菌工程を有するため、熱源設備は必要な設備となっております。その工程には燃料を使用して温室効果ガスを排出するため、気候変動リスクに繋がることを大きな課題としてとらえています。当社国内事業所においては加熱熱源の低炭素化を推進するため、重油に比べ温室効果ガス排出の少ない天然ガスへの燃料転換を進めてきましたが、2021年度に燃料転換を完了いたしました。2023年度も引き続き新技術の導入に取り組み、高効率機器導入によるCO<sub>2</sub>排出量の削減を推進していきます。

スコープ1・2のCO<sub>2</sub>排出量の推移 (Scope1・2 国内事業所合計)



## 温室効果ガス削減への取り組み

2022年度



2021年度



## 化学物質の管理

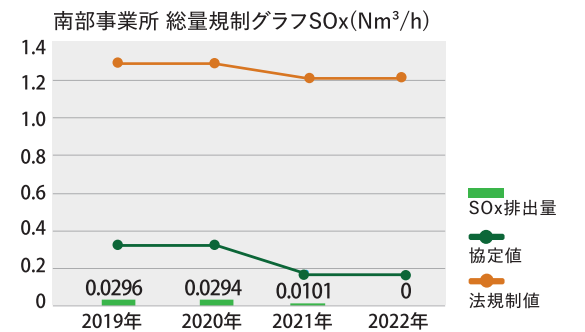
2021年度に、国内事業所で最後の1基となっていた重油ボイラー設備を天然ガス燃料のボイラー設備へ更新することで国内事業所での燃料転換計画が完了いたしました。結果、2022年度より化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)における対象物を排出することなく機器を運転しております。

### ■化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)における対象物質の取扱量算定



## 大気汚染防止

排気ガスについては法律に定められた基準がありますが、当社では市と協定を締結し、法規制を上回る、より厳しい基準を設けております。燃料にはLNG(液化天然ガス)、都市ガスを採用し、2022年度の排出については、南部、塩浜両事業所において『SOx排出ゼロ』を達成いたしました。蒸気ボイラー設備においては低NOxバーナーを採用し、窒素酸化物の排出抑制に努めています。



## 排水

南部事業所では、処理後の排水を河川へ放流しています。河川放流は、下水道放流より環境への影響が大きく、排出基準値が厳しく設定されています。南部事業所は四日市市と協定を締結し、法規制より厳しい基準を設定し管理しています。排水処理設備では、放流水及び処理工程に応じた監視測定を行い、異常を早期発見できる体制を整えています。また、排水処理設備IC(InternalCirculation)リアクターを導入し、工場排水を公共下水規制値に比べ60倍厳しい数値まで処理しています。※塩浜事業所については、公共下水への放流となっております。

## 廃棄物の再資源化

日々の改善活動を通じて発生抑制に努めています。廃棄物はサーマルリサイクル(熱エネルギーとして利用)、マテリアルリサイクル(廃棄物を飼料や肥料として利用)、焼却、埋め立てによる最終処分量の削減を行い廃棄物のリサイクル率99%を達成しています。

「地球のために」のその他の情報はWEBでご覧いただけます





## 地域社会と ともに



私たちは、地域社会との共生に努め、  
地域活動を通じて社会への支援や産学育成に取り組み、  
信頼される企業を目指してまいります。

### 三重県立神戸高等学校 授業協力

四日市本社(三重県)近隣の教育機関である三重県立神戸高等学校へ授業協力をしました。2022年度より全国の高等学校で始まった「総合的な探究の時間」において化粧水をテーマに設定した学生向けに化粧水の構造の勉強会を実施しました。テーマ進捗に関わるだけでなく、未来を担う学生にとって将来の楽しみに繋がるように化粧品製造に携わる中で大切なことについてお話をさせていただきました。



### 鈴鹿工業高等専門学校企業見学会

四日市本社(三重県)近隣の教育機関である鈴鹿工業高等専門学校向けに企業見学会を実施しました。「食品加工」に興味をもち、専門性を磨きたいと考えた学生へ食品製造のポイントや現在の加工技術の紹介を含めた工場見学を行いました。また、より具体的な自身のキャリアについて考えるきっかけづくりとなるように鈴鹿工業高等専門学校出身の先輩社員と座談会を行いました。



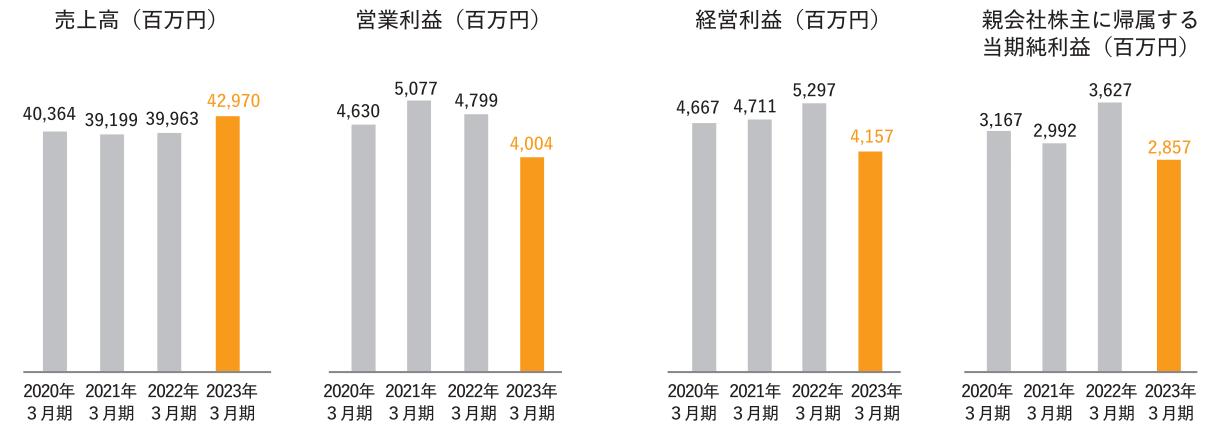
### 港区立神明いきいきプラザ

東京本社(港区浜松町)に隣接する港区立神明いきいきプラザは「集い、学び、育む」をキーワードに、60歳以上の方を中心に、趣味、レクリエーション、学習活動の場や健康づくりの活動の場、区民の交流や地域活動の場となっております。昨年度に引き続き、港区立神明いきいきプラザと当社のコラボ企画として高齢者世代の関心が高い免疫や認知機能といった健康寿命延伸に関する講話を行いました。

三重県の企業としても親しみ深い「お茶」にスポットをあて、お茶の飲用と健康の繋がりについて分かりやすく紹介しました。



## 財務・非財務ハイライト



### 財務情報 (連結)

	単位	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
売上高	百万円	40,130	40,364	39,199	39,963	42,970
営業利益	百万円	4,189	4,630	5,077	4,799	4,004
経常利益	百万円	4,129	4,667	4,711	5,297	4,157
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	2,632	3,167	2,992	3,627	2,857
純資産額	百万円	38,297	40,078	42,338	44,159	46,292
総資産額	百万円	48,813	49,751	52,867	54,714	58,622
株主資本利益率 (ROE)	%	7.1	8.3	7.4	8.6	6.5
設備投資額	百万円	2,465	2,305	3,836	4,051	2,622
減価償却費	百万円	1,136	1,138	1,272	1,497	1,984
研究開発費	百万円	1,309	1,413	1,392	1,379	1,266
売上高研究開発費比率	%	3.26	3.50	3.55	3.50	2.94
自己資本比率	%	76.7	78.8	78.0	78.3	76.5
営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円	3,266	4,217	4,674	5,122	557
投資活動によるキャッシュ・フロー	百万円	△3,654	△2,869	△4,365	△2,915	△3,266
財務活動によるキャッシュ・フロー	百万円	△2,081	△1,002	△1,506	△2,379	742
1株当たり当期純利益	円	143.71	174.64	165.42	209.04	168.48
1株当たり配当金	円	44.00	53.00	50.00	64.00	51.00
配当性向	%	30.6	30.3	30.2	30.6	30.3

### 非財務情報 (社会性指標)

	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
労働災害発生率 ※1	%	2.45	0.00	2.21	2.28	3.45
従業員数 ※2	名	541	547	534	519	498
海外従業員数 ※3	名	322	311	305	411	429
平均勤続年数	年・月	19年10ヶ月	20年1ヶ月	20年9ヶ月	20年7ヶ月	20年11ヶ月
新卒女性採用比率	%	37.5	37.5	33.3	50.0	33.3
管理職女性比率	%	4.4	5.8	5.7	4.7	5.2
障がい者雇用率	%	2.85	2.71	2.73	2.50	2.26
女性従業員育児休業取得率	%	100	100	100	100	100
男性従業員育児休業取得率	%	-	-	-	-	36.40
有給休暇取得率 ※2,4	%	66.00	67.07	62.93	61.40	66.71
育児休暇取得者数	名	11	14	14	16	11

※1 労働災害による死傷者数 / 延べ実労働時間数 × 1,000,000 で算出 ※2 社員・契約社員 ※3 海外子会社の従業員 ※4 有給休暇付与日ベースで計算



TAIYO KAGAKU  
Report  
**2023**  
会社概要  
(2023年3月31日現在)

商号 太陽化学株式会社  
 設立 1948年1月28日(創立/1946年5月)  
 資本金 77億3,062万円  
 代表者 山崎長宏  
 従業員 934名(この他臨時従業員159名)/連結  
 売上高 429億70百万円/連結  
 本社所在地 四日市本社  
 〒512-1111  
 三重県四日市市山田町800番  
 東京本社  
 〒105-0013  
 東京都港区浜松町1丁目6番3号  
<https://www.taiyokagaku.com/>

販売拠点

アメリカ、タイ、中国、台湾、韓国、ベトナム、  
 フィリピン、インドネシア、ヨーロッパ

販売代理店

アルゼンチン、イギリス、イタリア、インド、ウルグアイ、  
 エクアドル、オランダ、オーストラリア、オーストリア、  
 カナダ、ギリシャ、コロンビア、シンガポール、スイス、  
 スペイン、チェコ、チリ、フィンランド、ブラジル、ブル  
 ガリア、ペルー、ベルギー、ポーランド、マレーシア、  
 南アフリカ

海外拠点

ドイツ / Taiyo GmbH

当社製品のEMEA(欧州、  
 中東、アフリカ)地域での  
 販売拠点として2012年に  
 ドイツに設立しました。



- 販売拠点
- 製造拠点
- 販売代理店

インド / TAIYO KAGAKU INDIA Pvt. Ltd.

水溶性食物繊維の生産工場。また、東南ア  
 ジア市場に向けたハラール認証を有する  
 食感改質剤の製品提供をしています。



中国 / 開封太陽金明食品有限公司

マイクロ波加工技術を利用し、急速に発展す  
 る中国、アジア圏の即席食品市場に向け提供  
 しています。



中国 / 香奈維斯(天津)食品有限公司

中国天津市にベーカリー製品の製造、販売を  
 目的として2012年に設立しました。



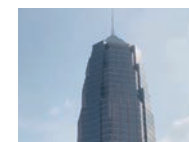
中国 / 無錫太陽緑宝科技有限公司

緑茶抽出物など、植物由来の機能性素材の生  
 産工場。国際的な各種認証を有し、コーシャ、  
 ハラール認証品も世界市場へ提供しています。



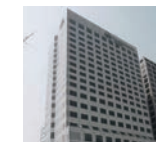
中国 / 上海太陽食研国際貿易有限公司

アジアを海外戦略の重要地域と位置付け、  
 食品加工原料並びに機能性素材の販売子会  
 社として、2006年1月に設立しました。



韓国 / TAIYO INTER KOREA Co., Ltd

韓国市場への販売拠点として、2001年に  
 設立。韓国の食品・化粧品市場へ、更に  
 積極的に販売活動を展開しています。



台湾 / Taiwan Office

フィリピン / Philippines Office

インドネシア / Indonesia Office

タイ / Bangkok Office

ベトナム / Vietnam Office

国内拠点



南部事業所 四日市本社 / 南部工場 塩浜事業所 研究所 / 塩浜工場



東京事業所  
 東京本社/おいしさ科学館/  
 タイヨラボ・ショップ